

項目またはページ番号をクリックで各ページへ移動

CONTENTS

メンバー紹介	3
拠点形成の目的	4
研究プロジェクト紹介	
フィールド言語学	6
コーパス言語学	10
言語情報学	17
会議・研究会	
人材育成計画	27
グローバルCOEフェロー	28
キャリアパスデータベース	31
出版物	32

名 称 グローバルCOEプログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」
Corpus-based Linguistics and Language Education
事業期間 2007年度～2011年度
専 攻 名 東京外国語大学大学院総合国際学研究院
U R L http://cblle.tufts.ac.jp

1 メンバー紹介

▶HPメンバー紹介ヘリンク

●事業推進担当者

拠点リーダー

峰岸 真琴 言語類型論, 東南アジア言語学

フィールド言語学班

バースカララオ, ペーリ 南アジア諸言語学, 音声学, 文字情報学

中山 俊秀 北米言語学

稗田 乃 アフリカ言語学

中川 裕 音声学, コイサン言語学

澤田 英夫 言語学

コーパス言語学班

富盛 伸夫 言語学, ロマンズ言語学

成田 節 ドイツ語学

中澤 英彦 スラブ語学, ロシア語学

早津 恵美子 日本語学

言語情報学班

川口 裕司 フランス語学, トルコ語学

根岸 雅史 英語教育学

海野 多枝 言語教育学, 第二言語習得論

佐野 洋 言語情報工学

投野 由紀夫 コーパス言語学, 英語教育学

●グローバルCOE特任教授

赤木 攻 (2008年4月～2010年3月)

大阪外国語大学教授, 同大学学長, 日本学生支援機構参与 (国際交流担当, 東京国際交流館長)。タイ語辞典の電子化及び, 日タイ学術協力体制の整備を担当。

佐藤 大和 (2008年4月～)

日本電信電話公社, NTTアドバンステクノロジ: 音声音響技術センター所長, 東京工業大学情報理工学研究所特任教授。日本語研究及びコーパス分析ソフトウェアの開発を担当。

Christa König (2008年9月～2009年9月)

Lecturer, Department of Linguistics, University of Zurich, Post-Doc scholarship, University of Cologne.

●グローバルCOE研究員

阿部 優子 バントゥ諸語, 形態統語論 (2008年1月～2009年9月)

カン ミンギョン ドイツ語学 (2008年4月～)

鶴沢 洋志 マレーシア語学, 言語学 (2008年4月～)

ソン ジヒョン 日本語学, 言語学 (2008年4月～2010年3月) 日本学術振興会特別研究員 (グローバルCOE)

志波 彩子 日本語学, 一般言語学 (2009年8月～)

石部 尚登 社会言語学, 地域語・方言復権論 (2009年9月～)

2 拠点形成の目的 [▶HP拠点形成の目的紹介へリンク](#)

グローバルCOEプログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」（以下「コーパス言語学拠点」と略）は、コーパスに代表される実証的な言語科学領域における国際的・先端的な研究者を育成することを目的としています。とりわけ大学院総合国際学研究院を基軸とした教育プログラムを充実し、国際的に展開を図ることにより、世界諸地域の言語文化の多様性に通じた、複眼的視野を持つ言語研究者・言語教育者を養成することを目指しています。

コーパス言語学拠点は、21世紀COEプログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」の学術的成果を継承し、拠点の教育に活用していくとともに、これまで形成してきた国際共同研究体制を強化し、全学的支援の下に、その果たしうる学術的・人材育成的機能を充実させています。

言語の運用に関する実証的な研究は、本学大学院の言語研究カリキュラムの中核に位置づけられるものです。コーパス言語学拠点では、フィールド言語学、コーパス言語学、言語情報学の三つの分野を横断する形でのリレー講義を大学院カリキュラムに加え、分野横断的な合同指導体制を充実させています。この他にも研究会、講演会の開催を通じ、大学院生を対象とした総合的教育プログラムを充実させ、フィールドワークおよびコーパス構築・分析、さらに国内外での言語教育実習などの機会を大学院生に与えることで、若手研究者を育成しています。

若手研究者の育成には、大学院生を中心とした自主的な研究を促進することが重要です。コーパス言語学拠点の研究は、学位を取得した若手研究者から選抜されたグローバルGCOE研究員、リサーチ・フェローおよび大学院後期課程に在籍するジュニア・フェローがその活動を担っています。これら若手研究者に、三つの専門分野の教員が参加して行われる合同ゼミナールは、若手研究者が相互に研鑽を積む場として、重要な役割を果たしています。

これら教育・研究プログラムの実施により、類型的にも多様な諸言語に関する先端的な研究を展開し、「フィールド調査から言語コーパス構築へ、さらにコーパス分析から言語教育への応用まで」という、言語研究全般にわたる研究上の連続性を強化しています。

拠点形成計画概要

本拠点では、言語研究分野で先端的な成果を得るため、次の三つの研究アプローチを主軸としています。

1. フィールド言語学

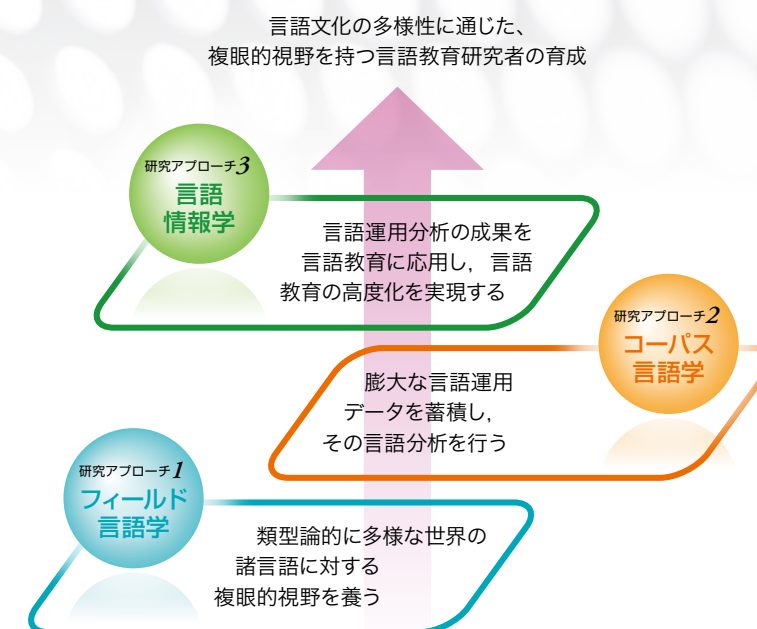
国内外のフィールドにおける実際の言語運用データの収集・調査

2. コーパス言語学

多様で膨大な言語運用データのコーパス化と分析

3. 言語情報学

情報工学に基づく、分析結果から言語教育分野への応用的還元



これらの研究アプローチを相互的に連関させた教育研究プログラムを実施することにより、言語理論のモデル化や一般化に留まらない、言語運用の実態に基づいた先端的言語科学領域の若手研究者養成を行っています。

この教育研究プログラムは、以下の三点において重要です。

①研究上の複眼的視野の養成

世界諸地域の言語と文化の多様性を理解し、複眼的視野をもった若手研究者の育成が切に望まれています。

②言語研究および言語教育研究における実践トレーニングの機会の提供

コーパス構築作業と並行してフィールド調査の実践および言語教育の現場を経験することにより、国内外で活躍の場を得るコミュニケーション能力に優れた研究者・教育者を養成します。

③海外教育研究機関との国際連携の強化

日本の言語研究・言語教育分野の高度化を推進し、言語研究および言語教育研究分野での国際的中核拠点として、いっそうの学術的貢献と研究者育成の責任を果たします。

3 フィールド言語学

1. コエ語族調査のための語彙調査票の作成（研究代表者：中川 裕）
2. 聴覚音声学と音韻構造（研究代表者：中川 裕）
3. スワヒリ語の自然会話収集・スワヒリ語話しことばコーパス（研究代表者：稗田 乃）
4. 言語ドキュメンテーションのサポートサイトの構築（研究代表者：中山 俊秀）
5. フィールドワークに基づくインド諸語の見習実地研修による研究（研究代表者：ハースカララオ ペーリ）

世界の主要言語だけでなく少数言語を含む類型論的に多様な諸言語と文化に対する複眼的視野を臨地調査研究によって養います。また様々な言語情報（現地の録音資料や文献、テキスト）を収集するための方法を研修させ、このための方法論（調音音声学、記述言語学、フィールド調査法など）を習得させる教育プログラムを設計・実施します。さらに、フィールドから得られたデータをもとに、音韻・形態・統語・談話テキスト各レベルの多様性に関する対照研究的・言語類型論的分析を行います。

3. 1. コエ語族調査のための語彙調査票の作成

研究代表者：中川 裕

多くのコエ語族が話されているボツワナでのフィールドワークにおいて利用価値の高い、調査媒介言語（ツワナ語）訳のついたコエ諸語基礎語彙調査票を作成します。ボツワナにおける現地調査の準備のために、ツワナ訳の語彙項目の音声を録音・編集し、利用の便宜を考えた語彙資料体に加工します。

3. 2. 聴覚音声学と音韻構造

研究代表者：中川 裕

学内協力者：佐野洋、望月源、降幡正志、鈴木玲子、上田広美、匹田剛

学外協力者：田原洋樹（立命館アジア太平洋大学）、原真由子（大阪大学）、五十嵐陽介（広島大学）

音韻論と聴覚音声学との共有領域を探究するための基礎資料である様々な言語の聴覚音声学的事実に関する知見を拡大するという取組みのために、実験室外（フィールド）での聴覚実験の方法論を発展させます。

「フィールド音声学ハンドブック作成」

フィールドにおける器械音声学的手法の初歩を実習する集中講座の補助教材を作成します。

3. 3. スワヒリ語の自然会話収集・スワヒリ語話しことばコーパス

研究代表者：稗田 乃

学外協力者：阿部優子（大阪大学研究員）、安部麻矢（大阪大学非常勤講師）

スワヒリ語には、Helsinki Corpus of Swahili で利用可能なコーパスが存在していますが、これは書き言葉が主で、話し言葉については部分的に存在するものの、データも非公開です。本プロジェクトでは、自然会話を文字化することで、話し言葉におけるスワヒリ語の文法的諸現象を分析するためのコーパスを構築します。

EN | HOME > コーパス > 若者に仕事がない

Global COE Multilingual Spoken Corpus

トップ
概説 2008-1
概説 2008-2
研究チーム
参考文献
コーパス
関連サイト
写真

グローバルCOEプログラム
コーパスに基づく言語学教育研究拠点
21世紀COEプログラム
言語運用を基盤とする言語情報学拠点

スワヒリ語; [L1]Aah ok nna makaka matatu yaaani hapa mambo kama mafiga matatu
日本語; さて、三人の兄さんに集まってもらっている、まあホットな三人の兄貴、というところかな
英語; Ok I have three brothers, it is like three cooking stones,

スワヒリ語; kwa hiyo aaaah akjaaribika kitu, uongo?
日本語; それじゃあ、オーケーかい
英語; everything will go alright, isn't it so?

スワヒリ語; [L2,3]Ndo manake yaani, ndo hivyo hivyo.
日本語; つまりだな、オーケーだ。そういうことだよ
英語; Yes, everything will be alright. What you are saying is true.

スワヒリ語; [L1]Habari ndo hiyo.
日本語; そういことか
英語; Ok Ok, alright.

スワヒリ語; [L2,3]Shwanga shwanga.
日本語; ああ、いいね
英語; Cool

スワヒリ語; [L1]Shwanga ma kila kitu frengwe naona kama kawaida.
日本語; とにかく、いつもどおりオーケー、ってことだね
英語; Cool, everything is fine as usual.

スワヒリ語
日本語
英語

若者に仕事がない

http://cblle.tufs.ac.jp/multilingual_corpus/sw/

3. 4. 言語ドキュメンテーションのサポートサイトの構築

研究代表者：中山 俊秀

学内協力者：永山ゆかり（AA研非常勤研究員）、永井佳代（AA研非常勤研究員）
学外協力者：長崎郁、山越康裕（札幌学院大学）、笹原健（麗澤大学非常勤講師）

国内ワークショップ

フィールド言語学の研究手法に関する実践トレーニングプログラムの一環として、テキストデータの分析及び辞書構築を支援するソフトウェアToolboxの設定、活用法を学びつつ、記述データ分析の手法、問題点について考えました。ワークショップでは、Toolboxの基本的な機能、Toolboxを活用してテキストデータを分析することの利点を説明し、さらにToolboxを使っでのデータ処理、分析の実際をデモの形で見せました。また、Toolboxで処理されたデータの発展的活用の可能性として、辞書作成支援ソフト LexiqueProへのデータの取り込み、印刷用辞書やウェブ辞書への加工のプロセスの解説もしました。ワークショップでの扱った内容および関連情報はオンライン上で随時加筆・修正を加えつつまとめています。

<http://fieldling.aacore.jp/>

国際ワークショップ

研究協力者：ピーター・オースティン、デヴィット・ネイサン（SOAS, ロンドン大学）

フィールド言語学の研究手法に関する実践トレーニングプログラムの一環として、言語の一次データの記録、電子化、分析、アーカイブ化、活用（成果物への加工）の方法論に関する講義、ディスカッション、及び実習を行いました。ワークショップでは、言語ドキュメンテーション理論、データ収集法、音声記録法、データマネジメント方法論、アーカイブデータ作成法、研究助成申請法、データ活用法、などのトピックについて幅広く理論的なディスカッションと実践的な講習を織り交ぜた内容で行われました。参加者からは、これまで学ぶことができなかったことを非常に多く学ぶ機会となり、是非今後もつづけてほしい、と大変肯定的なフィードバックを得ました。ワークショップでの扱った内容および関連情報をオンライン上での共同作業によりまとめつつあります。

<http://fieldling.aacore.jp/>

3. 5. フィールドワークに基づくインド諸語の見習 実地研修による研究

研究代表者：バースカララオ ペーリ

本プロジェクトでは、インド亜大陸のいくつかの言語を取り上げ、音声・音韻分析を扱います。中でも、マニプル州で話されるタンクル・ナガTangkhu Naga語の様々な方言を、音声学・音韻論および方言語彙の綿密な研究に値するケースとして取り上げます。

タンクル・ナガ語は方言的多様性の観点から興味深いです。この「言語」はマニプル州の約220の村で話されています。村々は山脈で隔てられており、各々の村は異なる方言を持つと考えられ、さらにそれらのいくつかは異なる言語である可能性さえあります。

本プロジェクトでは、タンクル・ナガ語の方言調査を進行中であるインド、マイソールのインド諸語中央研究所と共同して、日本・インド両国の若手研究者の参加も視野に入れた、この言語（およびその方言）の音声・音韻の詳細に関するフィールド研究を行います。

タンクル・ナガ語のセイコルSeykhor変種とウクルルUkhrul変種の方言資料の収集を行いました。収集されたデータは、音素の設定に必要な最小対立を示す語のセット、異音変異を示す項目、音声的に詳述された語彙1000語などを含んでおり、データの音声はデジタル録音機で直接にデジタル録音されたものです。これらの方言の音韻分析が進行中であり、研究成果をGCOEの成果公開の場であるワーキングペーパーで公開する予定です。

4 コーパス言語学

1. ロシア語の機械辞書システム (研究代表者: 中澤 英彦)
2. タイ語の機械辞書開発 (研究代表者: 峰岸 真琴)
3. 中規模・小規模言語データのコーパス構築 (研究代表者: 峰岸 真琴, 澤田 英夫)
4. ロシア語の自然会話収集・ロシア語話しことばコーパス (研究代表者: 中澤 英彦)
5. ドイツ語コーパスの利用マニュアルの開発 (研究代表者: 成田 節)
6. コーパスにもとづく語彙論入門書の作成 (研究代表者: 早津 恵美子)
7. EU諸国少数言語のコーパス調査とデータベース化 (研究代表者: 富盛 伸夫)
8. 多言語コーパス分析研究用ツールの構築 (研究代表者: 佐藤 大和)
9. ロンウォー語基礎データの整備と公開 (研究代表者: 澤田 英夫)

本拠点に蓄積される膨大な言語運用データを分析し、研究目的に応じてコーパス化し、それを記述・分析する手法を習得させる教育プログラムを開発・運用することで、世界有数の言語運用に関する多機能コーパスを構築します。特に本学でこれまで蓄積してきた多様な文字処理・言語処理技術を応用することにより、コーパス構築、形態素解析、機械辞書構築、分析ツールの開発利用などについて、国際的な共同研究活動を遂行し、国内外の研究者に向けて公開・利用などのサービスを行います。

4. 1. ロシア語の機械辞書システム

研究代表者：中澤 英彦

見出し語数約5万語の露和電子中辞典を作成しました。現在世界には有効に活用できる露和電子辞書は存在しませんが、この辞典は、本学の21世紀COEプログラムの成果およびグローバルCOEプログラムによる自然会話の収録を積極的に利用し、学習の便に供するだけでなく、研究者の言語分析にも有効な手段となるものとなっています。



<http://cbille.tufts.ac.jp/dic/ru/>

4. 2. タイ語の機械辞書開発

研究代表者：峰岸 真琴



<http://cbille.tufts.ac.jp/dic/th/thja/index.html>



<http://cbille.tufts.ac.jp/dic/th/jath/index.html>

紙紙媒体の『Thai-Japanese, Japanese-Thai Dictionary for Thai People』(日タイ文化交流振興会) および『タイ日大辞典』(めこん) を基に、電子辞書およびコーパス分析用の機械可読辞書を開発します。

2007年度は、『Thai-Japanese, Japanese-Thai Dictionary for Thai People』(タイ日教育文化振興協会) および『タイ日大辞典』(めこん) の学術・研究上の使用、電子的複製、記述項目・記述内容の増補改訂について、原編著者の著作権継承者から国立大学法人東京外国語大学への許諾状を取得しました。Thai-Japanese Dictionary を対象として、データコンバート作業およびXML タグの仕様を策定し、XML 化を進めました。

2008年度は、Thai-Japanese, Japanese-Thai Dictionary for Thai People について、タイ人のための日本語教育用電子辞書を開発し、web 上での試験公開を行いました。また、これらの辞典の開発を例に、辞典の電子化とMRD (Machine Readable Dictionary) の開発に関するタイ

における国際研究集会での研究発表を2件行いました。さらに、作成したXML データを基にした辞典の増補、改訂およびその教育・研究での利用に関して、日タイ間での共同利用・共同研究を進めるため、泰日工業大学との学術協定を2009年3月に締結しました。

2009年度は、泰日工業大学と本プログラムとの共同研究で、辞書の拡張を行っています。日

本語については、専門語彙の追加のための基礎作業を行っています。タイ語については、日本人学習者のための便宜を図るため、発音記号の付加を行う予定です。

Thai-Japanese Dictionary をもとに、web 上での暫定版の公開を行っています。

- ・タイ日辞典（暫定版）<http://cblle.tufs.ac.jp/dic/th/thja/index.html>
- ・日タイ辞典（暫定版）<http://cblle.tufs.ac.jp/dic/th/jath/index.html>

4. 3. 中規模・小規模言語コーパス

研究代表者：峰岸 真琴・澤田 英夫

学内協力者：丹菊逸治（AA研ジュニア・フェロー、和光大学非常勤講師）、高島淳（AA研教授）
学外協力者：田口善久（千葉大学）、村崎恭子（GCOEシニアフェロー）、Ganesh MURMU（Ranchi University）

コーパスデータと電子辞書の両者あるいは一方が存在しない言語について、一次資料の電子化、コーパス化、電子辞書、機械可読辞書の開発を行います。ミャオ語（中国）、アイヌ語、パーリ語、クメール（カンボジア）語などのデータのコーパス化を当面の目標とします。

ミャオ語：語彙調査結果のデータベース化が終わり、出版物として成果を公開しました。現在、語彙データベースのweb上での公開に向けた準備を進めています。

カンボジア版『トリピタカ（南伝大蔵経）』：全110巻（本学所蔵）を画像データ化しました。同経は原パーリ語とそのカンボジア語（クメール語）訳とが見開きで表記されています（ともにクメール文字で表記）。今後は同経を画像データとして公開するとともに、テキストデータ（パーリ語、クメール語のバイリンガルコーパス）をどのような形式で利用可能とするかの研究を行います。

アイヌ語：故藤山ハル氏による原音声資料使用に関し、著作権継承者から電子的複製および公開の許諾を得ました。音声資料のテキスト起こしを一部行いました。

サンタル語：P. O. Bodding's Santal Dictionary (1932-1936)のデータ（1990年以来、峰岸、高島、Ganesh が日本とインドの共同プロジェクトとしてデータベース化を進めたもの、見出し語数約40,000語、3406ページ、データ量 10MB、見出し語と英訳部分について、データ公開中）の見出し語について母音の出現環境についての計量的研究を行い、同言語が8母音体系であるとするBodding の記述に反し、6母音体系である可能性が存在することを明らかにしました。2008年度には、引き続き同辞典の例文の検索を可能にするためのタグの改良と、データの校正を行いました。2009年9月に、更新されたデータを web で公開しました。

- ・ミャオ語（出版）：田口善久(2008)『羅泊河苗語語彙集』（東京：東京外国語大学）
 - ・カンボジア版『トリピタカ』画像CD-R
 - ・アイヌ語（未公開）：テキスト CD-R
- コーパスデータ公開URL：<http://www.aa.tufs.ac.jp/~mmine/india/Bodding2k/index.html>

4. 4. ロシア語の自然会話収集・ロシア語話しことばコーパス

研究代表者：中澤 英彦



http://cblle.tufs.ac.jp/multilingual_corpus/ru/

4. 5. ドイツ語コーパスの利用マニュアルの開発

研究代表者：成田 節

学内協力者：カン・ミンギョン（グローバルCOE研究員）
学外協力者：時田伊津子（中央大学非常勤講師）

インターネットで公開されているドイツ語コーパスについての情報を収集し、各サイトの公開コーパスおよび検索システムについて、その可能性と限界などを含めて詳細に調査し、コーパスを用いたドイツ語研究のための足場を固めます。インターネットで公開されているドイツ語コーパスサイトについてリストアップを行いました。この内、マンハイムのドイツ語研究所（IDS）

の現代ドイツ語書き言葉コーパスと検索システムCOSMAS II, およびベルリン・ブランデンブルク科学アカデミーの20世紀ドイツ語コーパスとDWDS検索システムについて詳細に調査し、それぞれの日本語での概要、マニュアル、検索例など編集し、「ドイツ語コーパスハンドブック2008」としてまとめました。またDWDSの開発担当者と連絡を取り合い、DWDS検索サイトの日本語プラットフォームの試作を開始しました。

「ドイツ語コーパスハンドブック2008」CD-R

「DWDS日本語プラットフォームトップページ試作品」CD-R*

*その後、DWDSとの協議により、日本語プラットフォームに関しては日本語コンテンツのみこちらで提供し、ウェブサイトへの組み込みは先方で行うことになりました。

4. 6. コーパスにもとづく語彙論入門書の作成

研究代表者：早津 恵美子

学内協力者：花薮悟（東京外国語大学留学生日本語教育センター）

語彙論を教えるための大学生向けの入門書（以下の2種）をつくります。語例・文例、および練習問題を豊富に盛り込んだものを予定しており、そのために既存の種々のコーパスを活用します。また、そのための予備調査として、(1) 日本語学習者向けの初級日本語教科書において語彙教育がどの程度意識されているか、(2) 語彙教育がどの程度意識的になされているか、の2点について先行研究を調査します。

(1) 初級日本語教科書の語彙調査

『新装版 初級日本語』（東京外国語大学留学生日本語教育センター編著1994）で使用されている動詞について、実際の文例、表記、構文的性質、形態的性質などの動詞リストを作成し、それをもとに、上の教科書の提出動詞について、語彙論的な観点からの分析を行い、指導上の問題点などもまとめました。

(2) 語彙教育関係文献の収集

日本語教育における語彙教育のあり方について論じている先行文献を収集し、文献リストを作成するとともに、報告論文を『コーパスに基づく言語学教育研究報告集』に発表します。

(3) 語彙論入門書のための練習問題の作成

既存の語彙論の入門書の分析をもとに、よりよい練習問題の案を作成中です。

- ・早津恵美子(監修)・中山健一(編)(2009)『外大生のための日本語研究ガイドブック』
- ・早津恵美子(監修), アクマタリエワジャクシルク・金俸呈・辺純影（編著）『『初級日本語』における提出動詞の語彙論的な分析』

4. 7. EU諸国少数言語のコーパス調査とデータベース化

研究代表者：富盛 伸夫

EU諸国及び必要に応じて周辺諸国におけるいわゆる「少数言語」（研究基盤の薄い国家語・非国家語・地域語・方言などを含む）について、該当地域の研究機関などにおけるコーパス構築に関わる研究動向調査を行います。EUの少数言語に関わる言語政策との関連も調査します。2009年度は、その成果をもとにコーパスを利用した研究対象となっている「少数言語」の記述研究を行い、学生指導にもそれを還元しています。

今年度は以下の言語地域を調査対象とします。

スイス国内：ロマンシュ語民話他の言語資料のコーパス利用による記述研究および動態的研究

ラトビア国内：ラトビア語のコーパス研究の調査、およびコーパス利用による形態論的研究

ロマンシュ語：民話他の言語資料コーパス構築とコンコーダンスの作成

ロマンシュ語コーパスを利用した形態統語論的記述研究

ラトビア語の社会言語学的状況とコーパス研究の調査報告

4. 8. 多言語コーパス分析研究用ツールの構築

研究代表者：佐藤 大和

世界の多くの言語の研究への利用を目的としたコーパス分析ツールの構築を進めています。以下の機能を盛り込みます。

(1) 境界記号付きテキストコーパスからの語・形態素リスト（辞書）の作成

(2) タグ項目の任意な設定、および辞書、テキスト両面からのタグ付与機能

(3) テキストとタグの複合検索

(4) 音韻・音節、接辞、語など言語諸階層における共起（連接）分析の強化

(5) 音声情報とのリンク

日本語やタイ語など諸言語のコーパスに基づいて、単語、統語性接辞、語形成接辞等のリストを作成し、テキストと形態素リストの双方からタグ情報の付与・更新を行う系を構築します。更に、タグ付テキストに基づき、テキストとタグ情報の検索、言語諸要素の共起分析や統計データ取得のための処理ツールの検討を進めています。

また、スワヒリ語に関して、接辞境界を自動的に設定するための形態素解析プログラムの作成を進めています。

プロジェクト期間中に、分析ツールソフトウェアを完成させ、各種言語の研究用として提供します。

4. 9. ロンウォー語基礎データの整備と公開

研究代表者：澤田英夫

下記の資料を作成・公開し、フィールド調査における調査項目の選定および作成の実例を提供します。

- (1) 文法項目を調査するための基本例文集と、そのロンウォー語対訳。基本例文は、調査の媒介言語として用いるビルマ語を元にし、英語を併記します。
- (2) 「アジア・アフリカ言語調査票：上」によるロンウォー語語彙調査の結果。この地域およびこの民族に特徴的な項目を補充してあります。
- (3) 民話等テキストのコーパス
- (4) 上記 (1) – (3) から抽出した形態素のコンコーダンス

5

研究プロジェクト紹介

言語情報学

フィールド調査とコーパス分析という二つの研究アプローチによる成果を、情報工学の支援を得て、言語教育法の高度化を実現します。自然会話や第二言語教育などの教育実践の場から得られる言語運用データの解析成果を活用して、より高度な言語教育法の開発や、言語能力の評価法などの応用研究を行います。

1. コーパス用例調査のための検索エンジン (JSC) の開発 (研究代表者：佐野 洋)
2. 日本語教科書コーパスの構築 (研究代表者：佐野 洋)
3. CbLLE品詞検索エンジン (研究代表者：川口 裕司)
4. Moodleを用いたe-learning (研究代表者：川口 裕司)
5. 話しことばコーパスの構築 (研究代表者：川口 裕司)
6. 中間言語としてのフランス語音韻論 (IPFC) (研究代表者：川口 裕司)
7. 日本語学習者言語コーパス (研究代表者：海野 多枝)
8. 双方向学習者コーパス国際プロジェクト (研究代表者：投野 由紀夫)
9. 英語学習者コーパスのエラー分析結果を応用した言語テスト作成 (研究代表者：根岸 雅史)

5. 1. コーパス用例調査のための検索エンジン (JSC) の開発

研究代表者：佐野 洋

学内協力者：川口裕司, 投野由起夫

コーパス用例調査のための検索エンジン(JSC)の開発を行ないます。プロジェクト関係者に教科書コーパスを利用してもらうため、マウス操作で検索式の記述ができるWebインタフェースを開発中です。Chasen (茶筌) の形態素解析結果から、外部から指定した規則に従って形態素の認定単位を変更することができる形態素フィルタープログラムも開発しています。成果物としてはコーパス検索ソフトウェアと形態素フィルターが考えられます。

検索結果						ダウンロード
ヒット件数:		100 / 521	検索式: ~html ~l 100 ~w 50 ~p A ~WS(A~国民)(Aが)'			
#	科目(大)	科目(小)	学年	文(前半)	文(後半)	
1	国語	現代文	高校	の波にのみ込まれた。それらの群衆はそれぞれの国の	国民がつくり出すものだ。だが、カメラを手にした人間	
2	地理歴史	日本史B	高校	の生活は、バブル経済とともにさらに過熱し ♪、多くの	国民が土地や株式などに投資するまでにいたった。だが	
3	公民	現代社会	高校	した付加価値であり、したがって海外で働いている日本	国民が本国に送金すればそれは日本のGNPに ♪ 含め ♪	
4	公民	現代社会	高校	ある。憲法は普通選挙権を認めている③。また、憲法は	国民が国政について意見を述べる請願権も認めている。	
5	公民	倫理	高校	名誉ある地位を占め ♪ たいと思ふ。われらは、全世界の	国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ ♪、平和のうち	
6	公民	政治・経済	高校	名誉ある地位を占め ♪ たいと思ふ。われらは、全世界の	国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ ♪、平和のうち	
7	公民	政治・経済	高校	b) 教育を受ける権利 憲法第26条では、すべての	国民が「その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利	
8	公民	政治・経済	高校	#S 国民総生産（GNP）は、1年間に	国民がどれだけの価値（市場で取り引きさ ♪ れる財・	
9	地理歴史	日本史B	高校	#S 1872（明治5）年、文部省はすべての	国民が男女とも学ぶ国民皆学を理念とし ♪、教育を国民	
10	公民	現代社会	高校	選んで議会（立法院）を設け ♪、議会を通して間接的に	国民が主権を行使する方法がとられた。これを議会制	
11	公民	現代社会	高校	、国の政治のあり方を決める権限は国民にある。ただ、	国民が政治のすべてについて直接決めること（直接民主	
12	公民	現代社会	高校	#S国民皆保険・皆年金 すべての	国民が、何らかの医療保険、年金保険に加入している	
13	公民	現代社会	高校	意思決定をおこなう間接民主制（議会制民主主義）と、	国民が直接投票し ♪ 意思決定をおこなう直接民主制とが	
14	公民	現代社会	高校	#S	国民が、主権者として、正しい政治判断をおこなうため	
15	公民	現代社会	高校	世界平和に貢献することを宣言した。そして、全世界の	国民が平和のうちに生存する権利（平和的生存権）を	
16	公民	現代社会	高校	や地方議員、地方公共団体の首長などの選挙を通じて	国民が政治に参加すること（参政権）を保障している。	
17	公民	現代社会	高校	名誉ある地位を占め ♪ たいと思ふ。われらは、全世界の	国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ ♪、平和のうち	
18	公民	政治・経済	高校	#S まず、憲法は、「全世界の	国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ ♪、平和のうち	
19	公民	政治・経済	高校	鉄道・港湾・工業用地や公園・図書館・上下水道など、	国民が共通に利用するものを、私的資本と区別して社会	
20	公民	政治・経済	高校	その権力は国民の代表者がこれを行使し ♪、その福利は	国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、	
21	公民	政治・経済	高校	#S 国民主権は、	国民が主権の行使としての政治に参加する権利を認め ♪	
22	公民	政治・経済	高校	の方針を定めたものであって、実際に生活に困っている	国民が、国に対して何らかの給付を請求することができ	
23	公民	政治・経済	高校	や派閥の論理によっておこなわれている現状に対し、	国民が直接内閣総理大臣を選べるようにすべきだとする	
24	公民	政治・経済	高校	しがなく、民間では不可能である。さらに、すべての	国民が最低限度の生活を権利として保障さ ♪ れるために	
25	公民	政治・経済	高校	選挙人を選ぶ間接選挙で選出さ ♪ れるが、実質的には	国民が直接選挙するのとかわらない。行政権は大統領に	
26	公民	政治・経済	高校	#S 参政権は、主権者である	国民が政治に参加する権利である。原則として間接民主	
27	国語	現代文	高校	#S 周知のように、日本では、私たち	国民が自分の生活と実践の中から制度づくりをしてい	
28	地理歴史	地理B	高校	をし ♪、共通の歴史をつくり出す。近代国民国家では、	国民が共通の歴史、言語をはじめとする共通の文化をも	
29	公民	現代社会	高校	。彼らも多くの人々に関心をもたれるが、その私生活は	国民が知る必要があるとはいえ ♪ ない。したがって多く	
30	公民	現代社会	高校	#S国民主権のもてで、	国民が政治に参加する場合、国民自身が意思の決定に	
31	公民	現代社会	高校	その権力は国民の代表者がこれを行使し ♪、その福利は	国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、	

5. 2. 日本語教科書コーパスの構築

研究代表者：佐野 洋

研究協力者：川口裕司、望月源

教科書160冊分のデータを収録した形態素タグ付きコーパスを作成しています。教科書の内訳は、中学校教科書11冊、高校教科書149冊です。成果として日本語教科書コーパスと日本語文型検索用データを計画しています。コーパス化した160冊の教科書の科目分布を表に示しておきます。

科目分類	市販総数	収録数	比率
化学	24	6	25.0%
家庭	32	19	59.4%
国語	85	31	36.5%
現代社会	28	14	50.0%
情報	43	10	23.3%
政治・経済	17	10	58.8%
生物	23	3	13.0%
地学	7	0	0.0%
地理	23	13	56.5%
物理	17	2	11.8%
保健体育	10	2	20.0%
総合理科	53	1	1.9%
倫理	11	7	63.6%
歴史	58	39	67.2%
実業校専門科目	218	3	1.4%
合計	649	160	24.7%

5. 3. CbLLE品詞検索エンジン

研究代表者：川口 裕司

研究協力者：高垣敏博

CbLLE品詞検索エンジンは、21世紀COE「言語運用を基盤とする言語情報学拠点 (UBLI)」が構築した、多言語話しことばコーパス（フランス語・スペイン語）にTree Taggerによる品詞タグを付与し品詞検索できるようにしたものです。この検索エンジンは話しことばに現れる様々な文法現象を分析する目的で開発されました。フランス語コーパスには、エックス・マルセイユ第1大学と協働して2005年7月に録音した21個の対話（総時間約7時間で10万語強）とパリ第13大学の研究者と協働して2006年2月～10月にかけて録音された7つの対話（総時間約8時間半で10万語強）が含まれます。スペイン語コーパスは、2004年度の29個と2006年度の40個の対話から構成され、総語数は約16万語です。

http://www.coelang.tufts.ac.jp/multilingual_corpus/fr/

http://www.coelang.tufts.ac.jp/multilingual_corpus/fr2/

http://www.coelang.tufts.ac.jp/multilingual_corpus/es_2004/

http://www.coelang.tufts.ac.jp/multilingual_corpus/es_2006/

文法Any POSAny POSAny POS検索00

辞書形ilfalloirリセットバリチェック

出現形

第二条件無し

リスト保存リスト保存(文脈付き)

1. fr57.txt:53 alors il faudrait / que , qu- / eh ben vous alliez au b- +

2. fr57.txt:155 eh ben alors il faudrait faire / euh , 0 / +

3. fr57.txt:156 une poser plainte il faudrait porter plainte +

4. fr57.txt:170 il faudrait que j' appelle la police

5. fr57.txt:211 euh / ah , eh / ben il faut faire opposition alors +

6. fr57.txt:217 eh ben La Poste il faudrait que vous X trouviez le numéro +

7. fr57.txt:218 euh et il faut oui il faut il faut absolument euh +

8. fr57.txt:226 euh c' est pas pressé il faut que vous alliez à la mairie pour +

9. fr57.txt:351 euh il faut que tu +

10. fr57.txt:352 il faut que tu évolues quoi enfin tu tu peux pas tu peux pas rester comme ça euh +

11. fr57.txt:355 il faut il faut que tu grandisses il faut que tu deviennes adulte complètement quoi +

12. fr57.txt:370 c' est plus une blague quoi il faut +

13. fr57.txt:371 faut vivre il faut donner de soi il faut +

14. fr57.txt:672 ben ça va être plus long les mèches parce qu' il faut décolorer les che-

15. fr57.txt:674 ah il faut les décolorer et ensuite les recolorer

16. fr57.txt:690 / puisque , parce que / là il faudrait combien de temps j' ai pas j' ai pas trop de temps devant moi non plus +

17. fr57.txt:1120 ah là il faut mettre le gel < euh

18. fr57.txt:1121 mais il faut aller acheter les deux < pots ça vous fera vingt-quatre

19. fr57.txt:1458 ah < oui il faut

20. fr57.txt:1460 il faut il faut revenir dans +

21. fr57.txt:1645 c' est un poids lourd qu' il faudrait pour faire ta tournée tu vois +

22. fr57.txt:1759 alors > il faut que tu signes là

23. fr57.txt:1776 et dis donc tu as les cheveux un peu longs là hein il faudrait que tu passes +

24. fr57.txt:1895 euh ben il faudrait constituer un dossier effectivement +

25. fr57.txt:1917 < non mais je rigole effectivement il faut présen-

26. fr57.txt:1948 il faut jamais vraiment choisir le devis le moins cher +

<http://cbllle.tufts.ac.jp/tag/fr/index.php?menulang=ja>

18

19

5. 4. Moodleを用いたe-learning

研究代表者：川口 裕司

このプロジェクトは21世紀COEプログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」から継続して行っています。21世紀COEの開発したTUFSS言語モジュールは、英語、ドイツ語、フランス語などの17言語を擁し、他に類例を見ない多言語で豊富なコンテンツをもったウェブ教材です。このプロジェクトでは、TUFSS言語モジュールを、世界的な標準規格である SCORM 形式のコンテンツに変換し、Moodle というオープンソースの教育管理システム上でe-learning教材として学内外で利用できるようにします。また、学内に向けては言語モジュールのコンテンツを部品化して教員が自由に教材に組み立てて利用できるようにしました。すでに Moodle の運用を 2007年度から開始して利用者からのフィードバックを得た言語もあります。



<http://cblle.tufs.ac.jp/moodle/menu-index.html>

5. 5. 話しことばコーパスの構築

研究代表者：川口 裕司

学内協力者：高垣敏博

学外協力者：佐野敦至（福島大学）

海外協力者：

トルコ：セリム・ユルマズ（マルマラ大学）、アルスン・ウラス・ユルマズ（イスタンブール大学）

フランス：アンドレ・ヴァリ、ジョゼ・ドゥロフ（エクス・マルセイユ第一大学）

スペイン：アントニオ・モレーノ・サンドバル、木村千枝子（マドリード自治大学）

21世紀COEから継続して行っているプロジェクトで、現在はトルコ語、フランス語、スペイン語を対象としています。トルコ語はマルマラ大学、イスタンブール大学、中近東工科大学、メルシン大学などの研究者と協力関係を構築しています。フランス語はエクス・マルセイユ第一大学、スペイン語はマドリード自治大学との国際共同プロジェクトです。各言語では約30時間を目標にして自然会話を録音し、全文の文字化が行われています。

EN | HOME > コーパス > トルコ文学の講義

Global COE Multilingual Spoken Corpus

トップ
概説2005
概説2007
研究チーム
参考文献
コーパス2005
コーパス2007
関連サイト
写真

☒トルコ語
☒日本語
☐英語

トルコ文学の講義

トルコ語: “geç kaldım # bütün bunlar için geç kaldım” # “yoo böyle deme gençsin # öğrenmenin yası yoktur # bittigi durduğu yer yoktur” #

日本語: 「もう遅い、これら全てにおいてもう遅い」/「いや、そんな風に言うな、君は若い、学習に年齢は関係ない、学習が終わったり途切れる所はないのだ」、

トルコ語: bir gün konuşma içerisinde geçti (.) arasında *böyle ilmi yetersizliğini gösterir* burada bir bozkırın ötesi diyor # yani böyle bkr (---)

日本語: ある日、話している中に (.) 間、つまり、そういう知識の不十分さが見られる、ここで、ある砂漠の向こう側、と言っている、つまりそういう

トルコ語: evet biraz önce konuştuğumuz gibi # yani ufkunu biraz daha ötelere götürmeye çalışıyor # yani ama demek ki onun ilimde o kadar yeterli değil # yani kendisinde bunun farkında #

日本語: ええ、少し前(われわれが)話したように、つまり、視野をもう少し別の方向に持っていこうとしている、でも、つまりは彼の知識もそんなに十分じゃない、彼もこのことには気付いている

トルコ語: bozkırın ötesinde (.) yerleşik hayat şimdi Nizam Bey bozkırda yetişmiş çadırdan yaşadım falan diyor (.) daha yerleşik hayat istiyor (yani)

日本語: 砂漠の向こう側で、定住生活、ここでニザム氏は、砂漠で育ったとかテントで過ごしたとか言っている、もっと定住した生活がしたい

トルコ語: şehir (yani)

日本語: 都市、つまり

http://cblle.tufs.ac.jp/multilingual_corpus/tr/

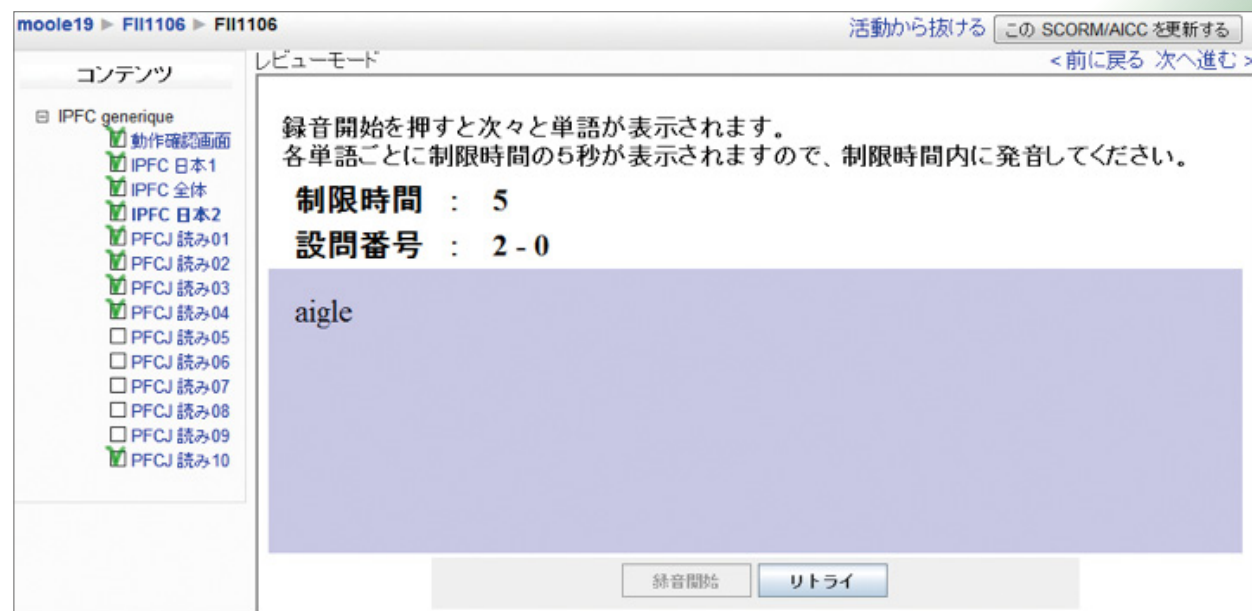
5. 6. 中間言語としてのフランス語音韻論 (IPFC)

研究代表者：川口 裕司

学外協力者：シルヴァン・ドゥテ（早稲田大学，ルーアン大学）

海外協力者：イザベル・ラシーヌ（ジュネーブ大学）

このプロジェクトは、フランスの国際プロジェクト「現代フランス語の音韻論 Phonologie du Français Contemporain」の一環として行われている国際共同プロジェクトです。2008年度に学習者音声コーパス構築のための基本的なプロトコルが決定されました。調査項目はPFCが定める全体的な項目の他に、それぞれの母語に応じた項目があります。2008年10月～12月にかけて、東京外国語大学において日本語を母語とするフランス語学習者に対して予備調査が行われました。この予備調査の成果を受けて、項目の練り直しと調査手法の改良を行い、2009年度から東京外国語大学とジュネーブ大学において、日本語およびスペイン語を母語とする学習者を対象とする本格的な調査が始まりました。調査手法と主な成果と問題点が幾つかの国際学会において発表されました。



<http://www.projet-pfc.net/index.php>

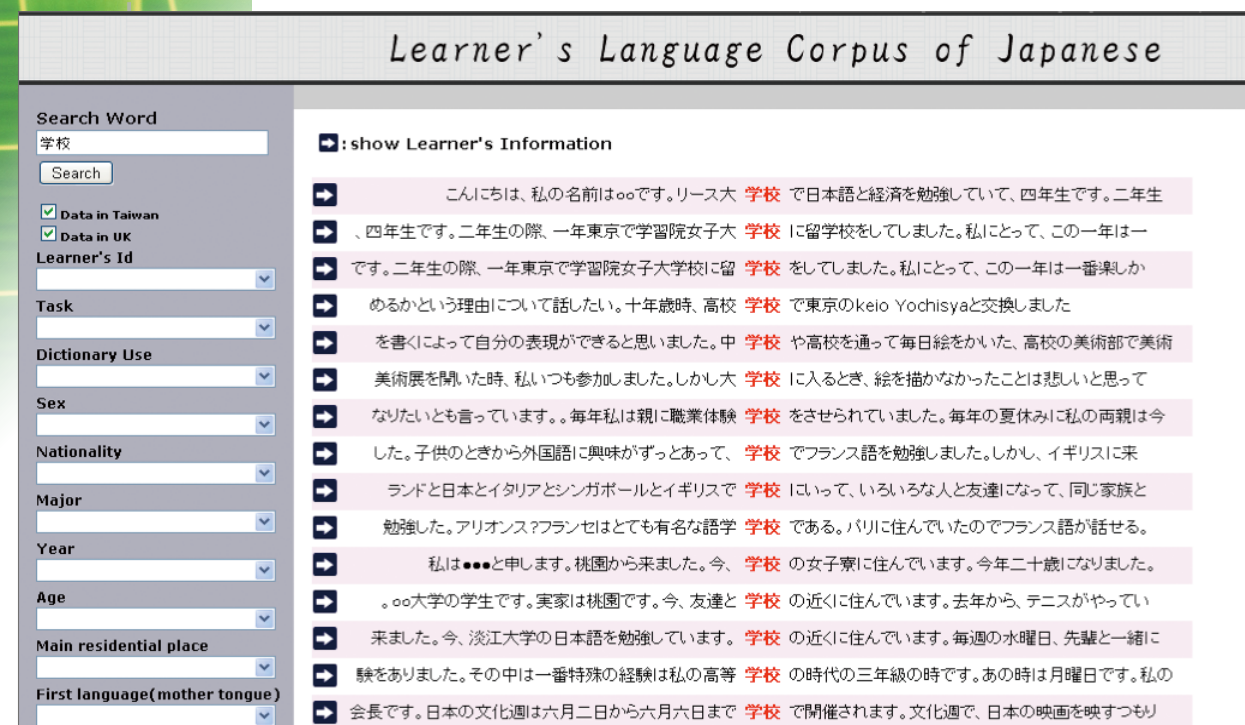
5. 7. 日本語学習者言語コーパス

研究代表者：海野 多枝

学内協力者：望月圭子

海外協力者：彭春陽（淡江大学），堀越和男（淡江大学），森本一樹（リーズ大学）

日本及び海外（漢字圏・非漢字圏）の教育現場で日本語の学習者言語データを収集し、コーパスを作成しています。これまでのところ、台湾淡江大学，英国リーズ大学，キエフ言語大学の各日本語学科と提携し、主に初級後半からの日本語作文データを収集，随時コーパス化し，一部をウェブ上で公開しています。比較用として，本学留学生のデータも集めています。淡江大学と本学では，E-ラーニング上のパラレルライティングタスクによる縦断的データ，リーズ大学とキエフ言語大学では，統一タスクによる作文データを，それぞれ収集しています。



<http://cblle.tufs.ac.jp/lc/ja/>

5. 8. 双方向学習者コーパス国際プロジェクト

研究代表者：投野 由紀夫

学内協力者：根岸雅史

海外協力者：

オーストリア：トム・ランキン(ウィーン経済・経営大学)

香港、中国：デーヴィッド・リー(香港城市大学)

イスラエル：タマー・アヴィアッド(ハイファ大学)

ポーランド：アニェスカ・レンコ・シマンスカ(ワルシャワ大学)

シンガポール：ファキン・ホン(国立教育研究所)

スペイン：パスクアル・ペレズ・バラデス(ムルシア大学), マリア・ベレン・ディアズ・ベドマー(ハエン大学)

台湾：オースティナ・シー, メイ・マー (財団法人語言訓練測驗中心)

世界の学習者コーパス研究者とタイアップして初級・中級英語学習者のコーパス・データを採取します。さらに、協力国の言語を外国語として学ぶ外語大生のデータを代わりに提供する「双方向型」のプロジェクトです。投野がすでに公開している日本人中高生の英語学習者コーパス JEFLL Corpusと比較可能な初級・中級英語学習者のコーパス・データを目下世界7か所（中国, 香港, 台湾, オーストリア, イスラエル, ポーランド, スペイン）の研究者と協力して, 国際比較が可能な学習者コーパスを構築中です。同時に, 可能な範囲で本学の専攻語の作文データなどを各国の言語を外国語として学習する学習者コーパスとして提供がすることも計画中です。

現在, 専用のwebコーパス検索サイトを準備し, デモ版が公開されています。さらに, 全データをXML化して, Xairaという検索ソフトで複雑な検索を可能にしたヴァージョン, 学習者属性を複合的に組み合わせて検索を可能にした web検索ヴァージョンを作成し, 内部でのデータ分析を終えた後に一般公開する予定です。

the International Corpus of Crosslinguistic Interlanguage

search word* Search

country grade mothertongue topic

* This is required field.

☐ show author information

I always go after the **school** with my friend, Mihaela, home.

I don't like going to **school** very much, but when I think of after the school, I'm happy

In **school** and after school.

After **school** I go home and have a meal, then I often watch TV, like

But the most time after **school** I be with friends or with my family.

I waste my money for emporant things from exemple : for **school** things, cloths,...!

In my **school** I often buy sweets.

Once in **school** i went next to the soccer ground and the ball hit my back.

This picture is from **school** and its look like the on a brake, I see boys playing basketball

My favourite film is High **school** musical this film see the aventure the one high school

school musical this film see the aventure the one high **school** the boys and girls.

After the High **school** he going to the gim for pratic the jump whit the round.

Harry return to the **school** and he returns with his uncle and his aunt.

<http://cblle.tufs.ac.jp/lc/icci/index.php?menulang=ja>

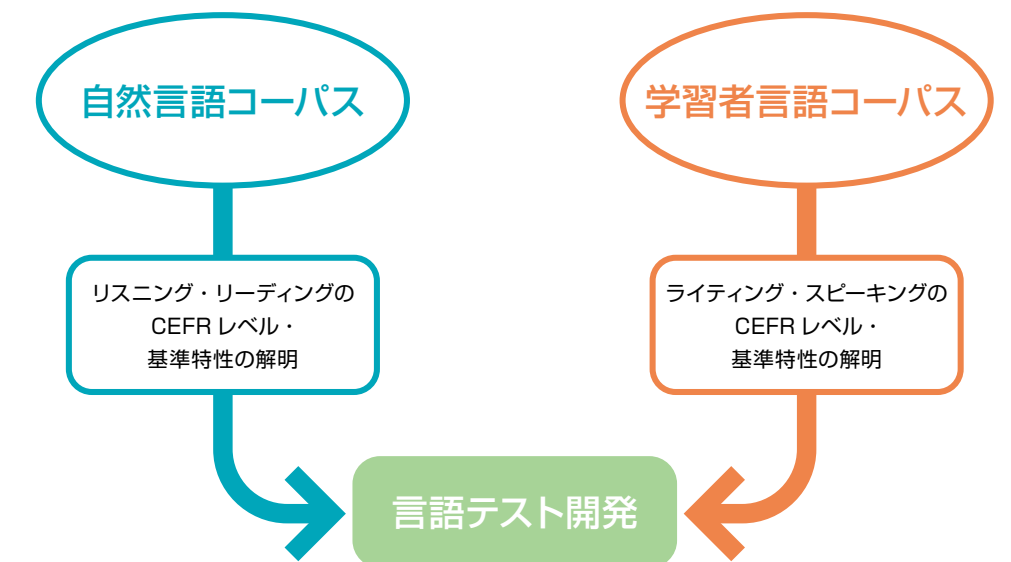
5. 9. 英語学習者コーパスのエラー分析結果を応用した言語テスト作成

研究代表者：根岸 雅史

学内協力者：投野由紀夫

このプロジェクトでは, まず予備調査として, 受容技能におけるレベル分けのために Common European Framework of Reference for Languages (CEFR)の受容技能の参照レベル記述のオーセンティック・テキストへの適用にまつわる諸問題を調査し, その後に, 英語学習者コーパスのエラー分析に基づいて, 言語テストを開発します。

この調査では, 英語話者の自然言語資料をCEFRのリスニングのためのcan-do statementsに沿って分類し, 難易度に貢献する特徴を探りました。さらに, リスニングとパラレルなリーディングのcan-do statementsについても同様の調査を行う予定です。また, 英語学習者コーパスの構築を待って, それをもとにしたエラー分析に基づいて, 英語のテスト開発を行います。



6 会議・研究会

「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」では、海外からの研究者が参加する国際シンポジウム、国際研究集会やセミナーなどを開催し、彼らと共同研究を行うとともに、分野横断的な合同指導体制の下で若手研究者・大学院生に対して論文執筆や国際会議や学会での研究発表の実践的な指導を行っています。また、フィールド言語学、コーパス言語学、言語情報学に関する国際シンポジウムおよびワークショップを開催し、その成果をJohn Benjamins社からシリーズとして刊行しています。さらに、国内外の研究者を招聘して講演会等を行い、ポスドクおよび院生に理論と研究手法を学ばせています。また、グローバルCOE研究員を中心とした院生プロジェクトによる研究会や合同ゼミナールを活発に開催し、若手研究者の育成を行っています。

ワークショップ・国際シンポジウム

●Corpus Analysis and Diachronic Linguistics

2010年3月1日～2日 主催者：川口 裕司

●多言語webコーパス検索ツール Sketch Engineの紹介と活用法について

2009年11月8日 主催者：投野 由紀夫

●Multilingualism and Code Switching in Netherlands and Canada

2009年10月15日 主催者：川口 裕司

●Webベースのコーパス検索サイト構築および多言語コンコーダンサーXairaの活用

2009年9月4日 主催者：投野 由紀夫

●A Geographical Typology of African Languages jointly with an international workshop on Khoisan Linguistics

2009年5月12日～14日 主催者：稗田 乃

●Corpus and Variation in Linguistic Description and Language Education

2008年5月8日～9日 主催者：川口 裕司

●Chula-Japan Linguistics Symposium

2008年5月1日～2日 主催者：峰岸 真琴, 遠藤 光暁(学外協力者)

●マンハイムドイツ語研究所における新しいコーパス言語学研究

2008年3月19日 主催者：成田 節

●コーパス言語学の新たなアプローチ

2008年3月18日 主催者：成田 節

●Documentary Linguistics Workshop

2008年2月14日～17日 主催者：中山 俊秀

●国際学習者コーパス構築プロジェクト会議

2008年2月12日～13日 主催者：投野 由紀夫

他会議開催状況及び国際会議発表状況

	2007年度	2008年度	2009年度
講演会	6回	9回	10回
研究会	9回	10回	1回
合同ゼミナール	0回	10回	15回
推進担当者国際会議発表	6人	10人	8人
若手研究者国際会議発表	5人	13人	18人

7 人材育成計画

「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」では、フィールドや言語教育の現場から得られた一次資料をコーパス化し、分析研究を行って、その成果を教育現場に還元することを、ひとつの流れとして実践できる研究教育人材の育成を目標としています。

そのために、合同指導体制を中心とした教育プログラムの整備を行うとともに、教員に大学院生を加えた共同研究プログラムを推進しています。また大学院生を中心とした若手研究者の自主的な研究を支援しています。

教育プログラムの充実

本学大学院では、コーパスに代表される言語運用の実証的研究を、言語研究の中核と位置づけています。そのため、フィールド言語学、コーパス言語学、言語情報学の三分野を横断する形でのリレー講義をカリキュラムに加え、三分野の教員による合同指導体制を充実しています。

同時に、三分野それぞれに関わる講義を充実しながら、シラバスの再編成を進めています。

これに加えて、コーパス言語学拠点では、三分野の先端研究者を雇用、招へいして、講義、研究会などの教育プログラムを充実させることにより、教育プログラム全体の有機的統合を図っています。

若手研究者の自立支援プログラム

本プログラムでは、若手研究者をグローバルCOE研究員として雇用し、先端的研究に携わらせるほか、公募によりリサーチ・フェローおよびジュニア・フェローを選考し、さまざまな研究支援を行うことで、自立した研究者の育成を図っています。

これら若手研究者は、またコーパスの構築と分析を教員の研究プロジェクトに参加しながら修得します。得られた研究成果を積極的に公開するために、若手研究者を国内外の学会、研究集会に派遣しています。

グローバルCOE研究員、リサーチ・フェロー、ジュニア・フェローらの若手研究者が中心となり、三分野の専門家が加わって開催される合同ゼミナールは、研究プロジェクトや自主的研究の成果を発表する場であるとともに、若手研究者が最先端の研究成果に触れながら、相互に研鑽を積むための重要な場となっています。

8 グローバルCOEフェロー

「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」ではポストドクや博士課程学生に経済的支援を行い、若手研究者が自立して研究できる機会を与え、彼らが国際的に活躍できる人材となるような工夫を行っています。

リサーチ・フェロー

名前	研究テーマ／博士号取得／現職	07	08	09
秋山 真一	ロシア語の共時的および通時的統語論			★
Abduhelil Abdureyim	計算機処理のためのウイグル語の言語体系と形態素解析	★	★	
安部 麻矢	アフリカ諸言語の言語接触に関する記述調査研究	★	★	
阿部 優子	東アフリカ・バントゥ諸語比較研究 博甲第66号 (2006.2.8) 2009年10月より 大阪大学学振特別研究員	★		
安 垠姫	日韓対照言語学、韓国語教育			★
Kaczmarek Mirosława	ポーランド語の会話データ・コーパス構築 博甲第102号 (2008.4.23)	★	★	
カレイラ 松崎 順子	児童英語教育・メディア研究	★	★	
カン ミンギョン	ドイツ語における状態変化動詞と使役交替 博甲第88号 (2007.6.27)		★	★
倉橋 農	語彙に関する汎用的電子化データベースの構築への予備的研究	★		
黄 詩淑	台湾閩南語の破裂音に関する音声的研究		★	★
榮谷 温子	書かれた口語アラビア語、特にエジプト方言	★	★	★
笹原 健	上ソルブ語文法の記述的研究	★	★	
須藤 秀樹	現代漢語統語論			★
孫 在賢	韓国語諸方言アクセントの比較研究	★	★	
高田 三枝子	日本語語頭閉鎖音のVOTの多様性と変化 博甲第号109号 (2009.2.18) 2009年4月より 愛知学院大学文学部専任講師	★	★	
野島 本康	ブヌン語の研究	★		
野瀬 昌彦	世界の言語における格の多様性に関する研究	★		
Pinter Gabor	日本語音素配列論がハンガリー語のCV連続の聴覚に及ぼす影響	★		
Bugaeva Anna	コーパスに基づいたアイヌ語動詞範疇についての類型論的研究：非人称構文を中心に 2008年12月より 早稲田大学高等研究所専任助教	★	★	
丸山 由紀子	ロシア語における数関連表現の時事的変化	★	★	
林 虹瑛	閩南語音韻論、中国語教育 博甲第87号 (2007.6.27)	★	★	★

ジュニア・フェロー

名前	研究テーマ／博士号取得／現職	07	08	09
秋山 真一	ロシア語の共時的および通時的統語論	★		
Akmatalieva Jakshylyk	キルギス語の補助動詞について			★
阿出川 修嘉	現代ロシア語のAspectとモダリティ	★	★	★
李 善姬	日本語の移動動詞の研究 博甲第号107号 (2009.2.18)		★	
石井 康毅	英語の前置詞の多義構造 2008年4月より 東京理科大学専任講師	★		
井之川 睦美	状況の異なるライティング・タスクの検討	★		
Yin Yin May	パラウン語の比較研究	★		★
太田 ワランヤ	タイの少数民族語クーイ語の記述的研究	★	★	★
恩田 義徳	古代教会スラブ語の分詞についてー機能的観点から	★		★
Kaczmarek Mirosława	ポーランド語の会話データ・コーパス構築 博甲第102号 (2008.4.23)	★		
金田 拓	コーパスに基づく中間言語分析：辞書ツールの学習者言語使用に与える影響について			★
韓 金柱	日本語における感情表現の考察	★		
北田 裕子	スワワ語の形態統語論研究		★	
金 銀美	日本語会話における相互調整行動について			★
金 愛子	韓国語母語話者による日本語破裂音の聴覚的認識	★	★	★
金 俸呈	日本語の受身文の特徴について			★
曲 明	スピーキングテストとしてのグループ・ディスカッション・テスト 2009年4月より 松山大学経営学部専任講師	★		
金 英南	現代日本語のラレティルについて	★		★
高 京美	従属節に用いられるV-サセルについて			★
黄 慧	オノマトペの対照研究	★	★	★
黄 詩淑	台湾閩南語の破裂音に関する音声的研究	★		
高 秀辰	現代日本語の因果関係の複文の研究	★	★	★
小早川 麻衣子	中級日本語学習者の不同意行動ー教材開発にむけて 2008年4月より 東京大学留学生センター専任助教	★		
Kobernyk Nadiya	非対格構文の類型論的研究：日本語・英語・ウクライナ語			★
蔡 松益	使役起動交替：日本語・英語・中国語との対照から			★
坂田 晴奈	フィンランド語の不定詞の研究			★
佐藤 佑	現代日本語の動詞性名詞と名詞化形式の諸相	★	★	★
佐藤 雄亮	日本語の推測を表すモダリティ表現	★		★
Seah Thian Ming Terence	結果性の形式と統語ー英日中国語の類型的研究ー			★
志波 彩子	現代日本語の受身文の体系 博甲第号111号 (2009.5.20)		★	
鄭 賢児	謝罪談話の日韓対照研究ーディスコース・ボライトネス理論の観点からー			★
金 罡	モンゴル語のモダリティーコーパスに基づく記述的研究	★	★	★
鈴木 綾乃	日本語学習者のコロケーション習得に関する研究-動詞「する」を中心に	★	★	★

9 キャリアパスデータベース

大学院生，博士号取得後の若手研究者の研究業績およびプロフィールのデータベースを構築して社会とのネットワークを形成し，研究者，教員および高度な専門職業人（外務省専門調査員，専門職公務員，システムエンジニア，外国語教育産業，言語聴覚士など）としての就職支援を行っています。



<http://cblle.tufs.ac.jp/gcoe-cpd/>

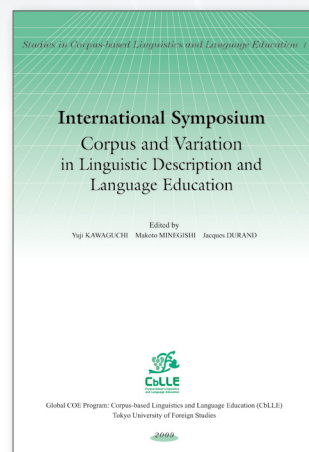
このキャリアパスデータベースに記載されている研究成果を携えて社会に巣立ち，若手の研究者たちが全国の国公立大学と研究所，あるいは私立大学や専門学校などにおいて勤務しています。グローバルCOEプログラムが始まった2007年9月から2010年2月までの間に，博士号取得者9名，さらに高等教育機関の専任教員になった人が7名います。具体的には，愛知学院大学文学部専任講師，大阪大学特別研究員，東京大学留学生センター講師，東洋大学文学部専任助教，東京理科大学専任講師，松山大学専任講師，早稲田大学高等研究所専任助教です。この他にも，多くの若手研究者たちが様々な研究教育機関で非常勤講師として言語学，音声学，個別言語などを教えています。

斯欽格日樂	モンゴル語の補助動詞について			★
須藤 秀樹	語彙アспектによる現代漢語動詞の分類	★		
Sri Budi Lestari	現代ジャワ語の第三者敬語の研究	★	★	★
成 知炫	現代日本語の補助動詞の研究―「してみる」と「してみせる」の意味・用法について―	★		
Thap-Hong Narin	主語が典型的行為者ではない使役・他動構文について			★
崔 瑞暎	モノ・コト主語の使役文について	★		★
茶谷 恭代	日本語の副詞の記述的研究	★	★	★
張 賢善	「～てある」の意味・構造―「～ておく」「～ている」との関係において―	★		★
張 盛開	漢語平江方言の音韻及び文法の体系的的研究 博甲第115号 (2009.9.16)	★	★	★
張 麗	現代日本語における可能表現に関する研究	★	★	★
時田 朋子	バイリンガルのコードスイッチング 博甲第119号 (2010.2.17) 2010年4月より 東洋大学文学部専任助教		★	
鳥越 慎太郎	日本人ポルトガル語学習者の接続法習得			★
戸渡 博史	マラーティー語を母語とする日本語学習者の学習者言語コーパスの構築	★		
Naosaran Arporn	現代日本語における非情物主語受動文ータイ語の受動文との対照ー			★
中田 俊介	フランス語韻律句の音調・リズム構造の分析	★	★	
中山 健一	日本語の動詞「いく」「くる」の多義の記述	★	★	★
長山 博之	現代モンゴル語過去形接尾辞の機能論的研究	★	★	
Nina Golob	韻律ー日本語とスロヴェニア語の対照研究ー	★		
野村 真理子	日本人英語学習者の話し言葉と書き言葉の比較研究		★	
幡 早夏	日本語東北方言の研究	★		
韓 必南	連体修飾に関する日韓対照研究			★
辺 純影	形式名詞「の」、「こと」、「もの」について			★
福田 翔	日本語と中国語の可能表現における対照研究			★
福原 聡美	日本語形容詞の連語性	★	★	★
本田 ゆかり	大規模コーパスを用いた日本語学習語彙表作成	★	★	★
松澤 水戸	日本人フランス語学習者の誤答の分析			★
宮武 かおり	日本語会話におけるスピーチスタイル		★	
村上 明	英語教科書が第二言語習得に与える影響			★
孟 達来	『元朝秘史』モンゴル語漢字音訳方式の研究	★	★	★
Mohamed Fathy	日本語とドイツ語における動詞型名詞修飾表現の対照研究	★		
柳村 裕	ラオ語声調の音声学的・音韻論的研究			★
山田 洋平	ハイラル・ダグル語の動詞形態論		★	
山根 史子	現代中国語における動補構造“V得C”について	★		★
楊 嘉貞	e-Learningによる日本語学習	★	★	★
吉岡 乾	記述言語学、フィールド言語学（ブルシャスキー語）	★	★	★
李 軼倫	現代中国語副詞“正”の語義機能について			★
李 宇霞	大学生初対面会話における話題選択、導入、展開パターン			★
李 丹	二格の名詞を含む単語結合について			★
渡邊 奈津子	中国語の可能表現について			★

★フェロー採用年度

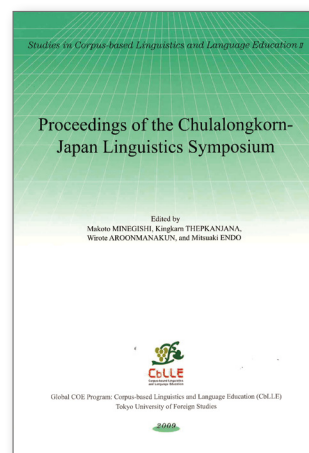
10 出版物

論文集



コーパスに基づく言語学教育研究論集 I
International Symposium:
Corpus and Variation in Linguistic
Description and Language Education

Edited by
Yuji KAWAGUCHI, Makoto MINEGISHI,
Jacques DURAND
2009年3月発行



コーパスに基づく言語学教育研究論集 II
Proceedings of the Chulalongkorn-
Japan Linguistics Symposium

Edited by
Makoto MINEGISHI, Kingkarn THEPKANJANA,
Wirote AROONMANAKUN, and Mitsuaki ENDO
2009年3月発行

研究報告集



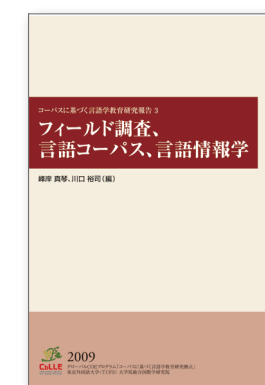
コーパスに基づく言語学教育研究報告 1
コーパスを用いた言語研究の可能性

富盛伸夫, 峰岸真琴, 川口裕司(編)
2009年3月発行



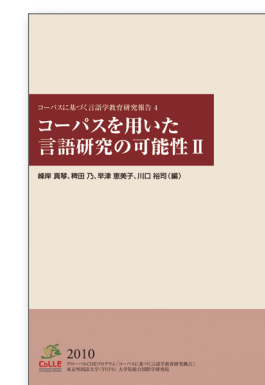
コーパスに基づく言語学教育研究報告 2
言語記述から言語分析の応用へ

稗田乃, 峰岸真琴, 川口裕司(編)
2009年3月発行



コーパスに基づく言語学教育研究報告 3
フィールド調査, 言語コーパス, 言語情報学

峰岸真琴, 川口裕司(編)
2009年5月発行



コーパスに基づく言語学教育研究報告 4
コーパスを用いた言語研究の可能性 II

峰岸真琴, 稗田乃, 早津恵美子, 川口裕司(編)
2010年3月発行

論文執筆支援シリーズ



論文執筆支援シリーズ I ドイツ語コーパスハンドブック 2008

成田節(監修)
時田伊津子、カン・ミンギョン(編)
Web上で公開
http://cblle.tufs.ac.jp/assets/files/publications/handbooks_01/index.pdf



論文執筆支援シリーズ II 外大生のための日本語研究ガイドブック

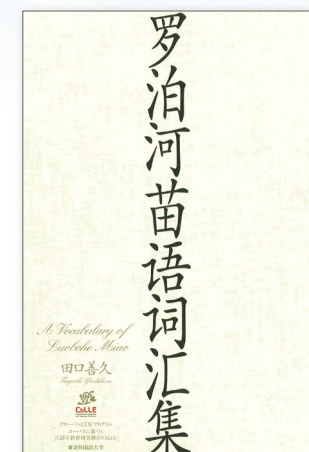
早津恵美子(監修)
中山健一(編)
2009年3月発行



論文執筆支援シリーズ III ドイツ語コーパスハンドブック2009

成田節(監修)
カン・ミンギョン、時田伊津子、高橋美穂、信國萌(編)
2009年5月発行

研究資料集



コーパスに基づく言語学教育研究資料 1 罗泊河苗语词汇集 A Vocabulary of Luobohe Miao

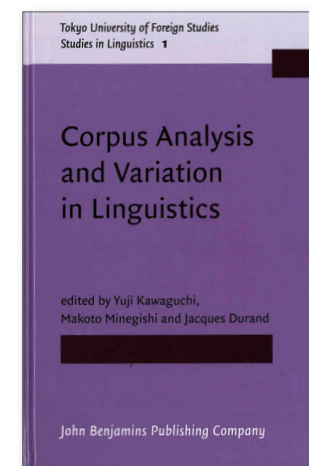
著者 田口 善久
2008年3月発行



コーパスに基づく言語学教育研究資料 2 初級教科書の語彙分析 ー動詞編(1) 語彙的な性質ー

早津 恵美子(監修)
アクマタリエワ ジャクシルク、金 俸呈、辺 純影(編著)
2010年2月発行

John Benjaminsシリーズ



Series : Tokyo University of Foreign Studies Studies in Linguistics (TUFS SL) 1 Corpus Analysis and Variation in Linguistics

Edited by
Yuji KAWAGUCHI, Makoto MINEGISHI,
Jacques DURAND
2009年3月発行
http://www.benjamins.com/cgi-bin/t_seriesview.cgi?series=TUFS